

令和元年度 流山小学校 学校評価について

1 学校評価の実施にあたって

今年度の学校評価を実施するにあたって、今年度の学校教育目標および経営の重点に示した内容をより正確に評価できるように、質問項目の内容を精査し作り直しました。また、保護者、児童、および教職員に対して同じ項目で評価を行うことで、それぞれの立場から見た評価結果を比較分析できるようにしています。児童向けのアンケートの文章表現は、質問項目の内容が逸脱しない範囲で、子どもにわかりやすいように変更を加えています。

2 評価の方法

実施時期・・・令和2年2月7日～14日

実施方法・・・アンケート方式

3 考察

質問項目ごとの考察は以下のとおりです。

(1) おおむね良い評価が多いのですが、児童の中でC及びDの回答があることを決して見過ごしてはならないと考えています。丁寧に子どもの様子を観察し、コミュニケーションをとることで、不安や悩みの把握と解消に努めていきたいと思えます。

(2) 本校の児童はとても素直で思いやりがあり、挨拶にも力を入れて取り組んでいる結果が表れていると思えます。しかし、教職員と児童との評価に差があります。教員が求めるものと児童の自己

評価とのギャップをどうとらえるかが課題です。

(3) 校舎の老朽化および清掃状況については、トイレや廊下などの汚れや老朽化を懸念する声が多く寄せられていました。本校の大きな課題であると考えております。

(4) 今年度に本校で発生した感染症への対応や、非常食の備蓄などの自然災害への対策を評価していただいている面もありますが、逆にこのような学校の取組が十分に家庭に周知されていないために、不安の声も寄せられていました。

(5) 児童からの高い評価に比べて、保護者の中には学力の保障に不安を感じている部分もあることを知ることが出来ました。

(6) おおむねよい評価をいただくことが出来ました。しかし、多数の児童が在籍しているため、今後も一人一人の特性を見極め、必要に応じて保護者とも連携して対応していく必要を感じています。

(7) 保護者による図書ボランティアや、読み聞かせのおはなしのもりの方々の協力によって、読書環境は保たれていますが、図書室自体の整備や日々の児童へ向けた読書指導などについては、改善の余地があると考えています。

(8) 児童、保護者ともに良い評価が多かった反面、保護者の方からはC、Dを合わせて16.4% (114人)もの厳しい評価をいただきました。児童の評価でもC、Dの合計は13% (125人)に上ります。自由意見からは、教員の厳しい指導により子どもが話をしづらい状況もあることがわかりました。

(9) 保護者の方や児童からCやDの評価があることを重く受け止めて、改善していきます。

(10) 非常に高い評価をいただくことが出来ました。授業参観や学校行事については、さまざまなご意見を寄せていただきましたので、今後の改善に向けて検討していきたいと思っております。

4 今後に向けて

本校は、「地域とともにつくる 日本一楽しい学校」という目標を掲げて、日々の教育活動に取り組んでいます。その意味では、最も重視すべき項目1の「児童は、学校に楽しく通っている」でC、Dの評価をしている児童がいることを重く受け止めています。このことは、項目5、6の学力面、生活面での支援に加えて、項目8に関係する教職員と児童との信頼関係の強化をしていくことで、全ての児童が楽しく学校に通えるように努めていきたいと考えています。

地域との関係については、本校の大きな特徴の一つであり、現在も多くの地域の方々や保護者の方々に支えられています。今後も学校からの情報発信に加えて、より多くの保護者の方や地域の方に学校へ足を運んでいただけるような取り組みを充実させていきます。

また、本校の大きな課題として、施設面での環境整備が挙げられます。日々の清掃への取り組みの見直しを行うとともに、保護者や地域の方々からの協力もいただきながら、きれいで整頓された学校を目指していきます。特に項目7の読書環境では、児童の評価でDが8.1%（77人）もいることを重視し、読書に親しむ環境と指導の強化に努めていきます。

全体を通しては、保護者、児童、教職員のうち全ての項目において、Aの評価をした割合は児童が一番多かったことは、とても嬉しく感じています。今後も児童数は増加傾向にありますが、子ども一人一人を大切にして、子どもの気持ちに寄り添った指導と支援に、継続して取り組んでまいります。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。